

港区立男女平等参画センター

2027 年度 助成事業 申請書（見本）

【申請書作成にあたる注意】

- ・元々記載されていた内容の削除・変更は禁じます。削除・変更が見られる申請書については、その申請を認めません。
（□から☑への変更、○の位置の変更、スケジュールの内容等、申請に必要な変更を除く。）
- ・記述量により元々の枠の縦幅が足りない場合は、枠の縦幅を大きくして記載してください。

説明会参加日	2026 年 9 月 16 日	提出日	2026 年 10 月 20 日
説明会参加者 氏名	芝浦 みなと		
申請タイプ ☑を入れてください	☒ ホップ	☐ ステップ	☐ ジャンプ

1 <申請者情報>

団体の申請の場合	フリガナ	エヌ・ピー・オー ホウジン ●●●●						
	団体名	NPO 法人 ●●●●						
	代表者	氏名: 芝浦 みなと						
	設立年月日	2022 年 12 月 22 日						
	活動内容	NPO 法人●●●●は、働く女性のエンパワーメントを目的に、情報発信などを行っています。具体的には、週 1 回の Instagram での情報発信、年 4 回のポッドキャストでの配信を行っています。						
	メンバー構成	合計 4 名（性別の内訳: 女性 2 名、男性 2 名）※申請時点						
	登録番号	団体登録されている場合は、その番号を下記に正確に記入してください。						
リーブラへの登録有無	☒ 登録なし ☐ 男女平等推進団体 ☐ 男女平等学習団体 ☐ 一般利用団体/個人							
個人の申請の場合	フリガナ							
	氏名	個人での申請で、継続的な活動がある場合、左記「氏名」と、上記の必要箇所を記載。 ●設立年月日＝活動開始年月日・時期 ●活動内容 ●登録番号、リーブラへの登録(ある場合)						

申請者(連絡担当者)連絡先	申請者名・連絡担当者	氏名: 芝浦 みなと	団体内役職: 代表理事 ※個人申請の場合、記載不要	個人申請の場合、この枠だけ記載不要。 本事業において優先される連絡先に○を付けてください。
	住所	(以下は「申請者名」に記載した担当者の連絡先を記入。本事業の実施における主要な連絡先となります) 〒105-0023 東京都港区芝浦▲-▲-▲		
	電話 (携帯電話)	090-1234-5678		
	FAX			
	E メール	abc@defg.jp		

過去の実績 ※必要に応じて 枠を増やしてく ださい。 なお、①に関し ては全ての活動 を書く必要はあ りません。	① これまでの主な活動(※活動内容が分かるチラシ・パンフレット・URL 等があれば添付してください。)			
	実施時期	事業	実績(参加人数等)	
	2023 年 4 月～	Instagram 発信(週 1 回) https://www.instagram.com/■■■■	閲覧数:月平均 123 月最高 456	
	2024 年 7 月	「働く女性のおしゃべり交流会」(●●区文化センター)	12 人	
	② リーブラ助成事業への申請・採用経験(※初めての申請)		会場、人数(参加・閲覧)等、 規模が分かることを記載。	
	年度	助成タイプ	事業テーマ・内容	採用/不採用
	2025	ホップ	「働く女性のメンタルヘルス」	×
				○・×
				○・×

2 <実施企画書>

事業テーマ	企画内容のテーマに該当するものに○印をつけてください。(複数選択可)	
	1 性別、性的指向及び性自認による差別の解消	2 女性活躍推進・働き方改革に関わるもの
	3 男性に男女平等参画推進を啓発するもの	4 ワーク・ライフ・バランスの理解促進や、多様な働き方を選択できる社会づくりに関わるもの
	5 男女平等参画の視点による地域のネットワークづくりや住みやすいまちづくりに関わるもの	6 配偶者等からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)の防止に関わるもの
	7 港区内の男女平等参画の調査・研究・分析に関わるもの	8 困難な問題を抱える女性への支援に関わるもの
	9 上記以外で港区の男女平等参画施策への貢献や進展が期待されるもの ()	
	事業名称	女性のための起業講座(全 2 回)
申請事業が 要項「1. 目的」 「2. 要件」に 適しているか 留意して ください。 事業目的 どのような 「③具体的な内容」 を行うのか、それ によりどのような 「期待される効果」 が見込めるのか という見通し・ 企画力も審査対象 のひとつです。	① 事業を実施する目的(解決したい課題・社会背景等) 現在、「起業」は誰にとっても身近なものとなり、女性にとっても柔軟な働き方となる可能性をもっている。起業が盛んになることで、女性の社会進出、経済的自立、女性目線での社会課題や地域課題の解決など、様々な効果が期待される。しかし、実際に起業を検討するにも、相談できる相手がいなかったり、適切な情報が得られなかったりして、検討段階で諦めたり、開業までの道のりで事業化を断念するケースも少なくない。 ② 助成事業に応募した理由(ホップ/ステップ/ジャンプに応募した理由が分かるように記載) 弊団体は、「働く女性への支援」をテーマに活動を始めて 3 年目となる。最近では Instagram、ポッドキャスト配信等のフォロワー・リスナーの人数が増えており、自分たちの手近で行える活動は、安定した軌道に乗ったと考える。そこで、講師を招いての講座、区民に広く募集をする講座を実施し、講座運営の力を身に付け、「イベントができる」団体になることを目指している。 ③ 目的達成のために本事業により実施する具体的な内容 港区内で起業を志す女性に、同じ志や悩みをもつ女性同士で集まれる場と、起業の方法についての情報を提供する。 【第 1 回】基本編 講義・ワーク ・女性の起業の現状・起業のメリット、デメリット・起業にあたってのマインドセット ・起業に必要なこと、もの・起業のためのキャリアの棚卸 【第 2 回】応用編 講義・交流会	

	・女性の起業例、個人事業と法人事業のちがい、・収益を出す方法、必要経費、資金調達の方法 ・事業計画書の作り方、・参加者同士で事業アイデアについて意見交換		
期待される効果	※本企画が港区の男女平等参画の推進にどのような効果があるのか、具体的に書いて下さい。 ・全 2 回の講座で、起業に必要なことを学ぶとともに、自分自身の強みを理解して、今後の具体的な起業準備を考える機会とする。 ・具体的に起業につながることは、港区男女平等参画行動計画で掲げている「女性の起業支援」に合致する。 ・リーブラに来館できる範囲に住む女性同士が交流できる場をつくることで、港区やリーブラで活動する女性ネットワーク、コミュニティの形成や発展に寄与する。		
事業の構成			
日 時	第 1 回 2027 年 9 月●日(▲)午後 2 時～4 時 第 2 回 2027 年 10 月●日(▲)午後 2 時～4 時		
会場	対面・Zoom によるハイブリッド開催(各回) 港区立男女平等参画センター 学習室 C (配信のため講師、手話通訳、実施団体が使用)		
講 師 (氏名・所属/肩書)	第 1 回 □□□ 氏(□□大学□□学部教授) 第 2 回 △△△ 氏(△△△コーディネーター)		
対象・定員	テーマに関心がある女性、港区内で起業を志す女性(全 2 回参加できる人) 30 名		
参加費	300 円 (使途: 資料代)		
	) ← 参加費は、徴収が必要な場合のみ記載。		
保育	必要 ・ 不要 (不要の場合その理由:)	手話通訳	必要 ・ 不要
実施体制	団体メンバー計 4 名で①～③を分担 ① 計画書・報告書等の書類作成、事務連絡等…代表が担当 ② チラシ作成…2 名 ③ 経理・会計…1 名 当日…団体メンバー全員で運営		
	当日の受付など人手が必要となります。その遂行をどうするか、「実行」の見通しを記載。個人での実行の場合、サポート要員の有無や、一人で行う工夫などを記載してください。		
広報の方法	・団体 Instagram(フォロワー数:)での告知 ・講師 2 名の SNS アカウントでシェア依頼 ・ポッドキャスト配信での告知 ・団体メンバー関係者の■■■氏に広報依頼 ・以前、交流会を実施した●●区文化センターにポスターの掲示依頼		
	集客をしっかり見込めることも「実効性」のひとつです。集客につながる広報の見通しを記載。		

3 <事業経費計画書>

詳細、単価・人数や日数を記載

事業経費申請に際し、実施企画の収支経費を記入すること。

経費細目		内訳	金額(税込)
収入	自己資金		円
	参加費等	資料代 300 円×定員 30 人	9,000 円
	その他の収入	助成金額を上回らないこと。 受講者個人が消費するなど、個人負担とする べきかは要検討。	円
			円
	助成金申込額(A)		100,000 円
	収入計(B)	上記収入費目の合計金額を記載してください→	109,000 円
支出	報償費	講師謝礼 25,000 円(2 時間)×2 名	50,000 円
	消耗品費	・印刷代(2000 枚)…5,300 円 ・用紙代(A3 ポスター用)…500 円 ・文房具…1,800 円	7,600 円
	通信運搬費	ポケット Wi-Fi レンタル(6 泊 7 日×2 回)	5,300 円
	会場使用料	Zoom 使用料(2 か月分)	7,000 円
		「本講座の運営にのみ」必要な方法をとる。 ※継続的な運営費は対象外。	円
			円
			円
			円
			円
			円
予算 内訳	一時保育と手話通訳費用については、 説明会資料を参照。 ※手話通訳の交通費は、想定費用を計上。		円
	一時保育費用	(3,850 円×3 時間+交通費 1,000 円)×2 日	25,100 円
	手話通訳費用	手話通訳 6,000 円×2 名 交通費(想定)1,000 円×2 名	14,000 円
	支出計(C)	上記支出費目の合計金額を記載してください→	109,000 円

要項
「4. 助成する
経費」を参照。

申請者は、以下の点につきすべて了解した上で、本申請書を提出しているものとします。

- ・本事業に関連する文書をすべて読み、助成事業の目的・主旨を理解しています。
- ・リーブラ以外の助成金を併せて使用して事業は実施できません。
- ・参加費の徴収は営利目的ではありません(参加費は 1 人/1 回あたり 1,000 円以下とします)。

【事業経費計画書・記入上の注意点】

※収入の合計(B)と、支出の合計(C)は同額になる必要があります。

※一時保育費用、手話通訳費用については、説明会資料など別紙をご参照ください。

以 上